

三田市立学校再編計画【第1次計画】説明会概要<藍・長坂中学校区> 【藍市民センター：出席者数：163人】

日時：2月10日（日）14：00～16：55

発言者	出席者の主な発言	事務局回答（概要）
つつじが丘	<p>①本日の会の趣旨は何なのか。普通なら「再編計画（案）」とするが、タイトルには「第1次計画」となっており、もう決まったように書いている。地域協議会の協議によっては、再編案が白紙になることはあるのか。</p> <p>②「将来的に、長坂中学校に比べて藍中学校の方が生徒数は少なくなる」という説明があったが、どんなデータに基づいているのか。</p>	<p>①「三田市立学校のあり方に関する基本方針」に基づき、今回、具体的な再編計画を作成した。表紙のタイトルは「第1次計画」となっているが、資料の中で、長坂中・藍中、上野台中・八景中の2つを「再編案」としてお示ししている。課題については、地域協議会の中で十分協議いただきたいと考えている。地域の総意として、この再編案に反対ということであれば、強引に再編を進めることは出来ないと考えている。</p> <p>②現在、各中学校区に居住している0～14歳の人が、そのまま校区の中学校に就学するものとして推計した生徒数である。よって、私立中への進学、転出入は考えていない。</p>
つつじが丘	<p>③総合教育会議の構成及びこの計画に対して果たす役割は何か。</p> <p>④教育長の経歴および教育に対する考え方を教えてほしい。なぜこの質問をするのかというと、7月の教育委員会の議事録を見ると、ある教育委員から「長坂中・藍中の統合は、それでよいのか」という意見があったのに、教育長の一言でそのまま承認されているようなので、聞かせてほしい。</p>	<p>③この再編計画については、まず教育委員会において、三田の学校の状況や教育的な課題等も説明した上で協議いただき、「再編案」として作成したものである。総合教育会議は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条4」に基づき、市長と教育長、教育委員4名が教育の重要な課題について協議し、方向性を決定する会議であり、この再編計画も、12月の総合教育会議で協議し決定されたものである。</p> <p>④教育長として1期目、今年の3月で丸3年が経過する。それまでは、市の職員として、主に企画・財政部署で勤務し、市全体のまちづくりについて関わらせていただいた。</p> <p>三田の教育については、家庭・地域の協力もいただきながら、各学校とも落ち着いて学習に取り組んでいるが、大学進学・就職の際に、三田を出ていく人が多いという課題もある。将来、家庭をもち、子どもができた時に、三田に戻ってほしいという気持ち強い。「子どもにも、三田で教育を受けさせたい」と思ってもらえるような三田の教育を進めていきたい。</p> <p>それが可能となるよう、教育長として、教育環境整備の充実に努めていきたい。</p>
	<p>⑤「上野台中学校・八景中学校の統合」では統合後の場所が「新設校」なのに、「長坂中学校・藍中学校の統合」では、なぜ「長坂中学校」なのか。三田市には財政的な問題もあるのに、なぜ新設校なのか。「(案)として提示している」という説明だったが、このまま決</p>	<p>⑤「上野台中学校・八景中学校」については、八景中が以前、組合立であったことにより三田市の最南端にあること、山を崩して作ったため、急坂を上らないといけない等の課題がある。一方、上野台中の校舎規模が小さいことから現在の中学校を活用するのは難しい。今後50～100年先を考えて「学校を新設する」</p>

発言者	出席者の主な発言	事務局回答（概要）
	定事項として進められるのではないのか、心配している。	とするものである。これについても、これから協議していく。
つつじが丘	<p>⑥もし2校を統合となると多くの生徒が自転車通学になると思うが、駐輪場の確保は大丈夫か。</p> <p>通学路はどうなるのか。藍中学校前の坂や相野駅周辺の安全確保は大丈夫か。現在は、藍中学校の先生が立ち番をしてくれている。学校行事等に使用できる駐車場の確保は出来るのか。</p>	<p>⑥2校を統合した場合、今よりも通学距離が遠くなる生徒が出てくることが考えられる。また、学校行事の時に、地域・保護者の方が、自家用車で来られることも多いと予想する。</p> <p>生徒の通学時の安全確保は重要な課題であり、通学バスの検討も必要。また、駐輪場や駐車場の整備も含めて、協議会で具体的に協議していきたい。</p>
つつじが丘	<p>⑦学校の統合は、いつ頃を想定しているのか。</p> <p>⑧スクールバスを走らせる可能性はどの程度あるのか。</p> <p>⑨説明の中で、「相野駅周辺の開発」とあったが、具体的にはどのような計画なのか。</p> <p>⑩部活動の顧問は何人必要か。運動部については、地域人材の活用も可能と思うが、市教委はどう考えているのか。</p>	<p>⑦協議会は原則2年を限度としているが、協議が早く整い1年で終了したとすると、再編準備会を経て、最短で平成33年には統合校がスタートすると想定される。ただし、校舎の改修等が必要な場合は、それ以降となる。</p> <p>⑧通学バスについては、協議会で地域のご意見を聞きながら、検討したい。</p> <p>⑨「相野駅周辺の開発」については、集落地域整備法に基づき、土地改良・道路改良・河川改良・土地区画整理の4つの事業を計画している。平成33年度に土地改良事業が終了し、平成34年度から土地区画整理事業に移る予定である。</p> <p>「広野駅周辺の開発」については、地権者からまちづくりに関する要望書が提出され、都市計画法施行条例に基づく土地区画整理事業を計画しつつある。</p> <p>⑩運動部であれば、安全面を配慮して1つの部に顧問は原則2名必要である。地域人材を活用した部活動指導員については、少しずつ広げていく予定であるが、顧問の数だけではなく、小規模校では部員自体が少なくなるので、部員不足で部活動が成り立たないということも起こる。</p>
つつじが丘	<p>⑪歴史的な経過の中で、「藍中学校は長坂中学校から分離した」という説明があったが、それは間違いではないか。つつじが丘地区は、大倉建設が開発に関わって造成されたものであり、その際、県から「幼稚園・保育園・小学校・中学校および消防署の用地は、準備するように」という指導があった。藍中学校開校までの期間、一時的に長坂中学校を間借りしていただだけである。「分離した」というのは、藍小学校区の話であって、つつじが丘地区はそうではない。歴史認識に誤りがあるのではないか。</p> <p>地域から中学校がなくなるのは、死活問題である。そのあたりを、市教委で議論されたのか。子どもの教育を語るならば、そのことも考えてほしい。まちづくり協議会の中でも、まちの活性化について議論している。このつつじが丘を子どもの住みやすいまちにしたい。</p>	<p>⑪つつじが丘地区が開発された経緯については、承知している。藍中学校がつつじが丘の開発により、生徒が増え新設したということは認識しているが、元来の校区としては、つつじが丘も含めて藍地区であり、藍地区の生徒が長坂中学校に通学していたのは事実で、そういう意味で「分離」と表現している。</p> <p>学校は、子ども達がいるからこそ教育が行われ、地域との関りが生まれると考える。地域の中に学校があることで、地域の活性化が図れるということは理解できる。ただ、小規模化が進む中で、そこに学ぶ子どもたちの教育環境としてどうあるべきかは、考えたいところである。再編案にある「長坂中」に通学しやすい条件整備を行い、充実した教育環境で子どもたちを学ばせたいと考えている。そのことも含めて、協議会で十分協議してもらいたい。それを受けて、市として最終決定していきたい。</p>

発言者	出席者の主な発言	事務局回答（概要）
	この計画には賛成しかねる。	
つつじが丘	<p>⑫少子化は、全国的な問題である。新設校のために50億円の投資が出来るのであれば、国県の基準を変更して、市独自の人的配置を行い、免許外指導や部活動等の課題を解決すればよいのではないか。「統合」という結論ありきの計画ではないか。三田市独自で出来ることを考えてほしい。</p> <p>⑬「地域協議会は原則2年間」という説明だったが、自治会の役員任期は1年である。途中で委員が交代する可能性があり、その場合協議の継続性はどうか確保するのか。</p> <p>また、協議会は公開か。協議結果については公表し、地域住民に説明されるのか。</p>	<p>⑫国県の基準は、三田市独自では変更できない。市費で採用した教員は、授業の補助はできても、担任や教育計画の作成等はできないため、免許外指導の課題の解消には至らない。</p> <p>⑬できれば、委員として2年間お世話になれる人を選出していただきたい。途中で変わるよりは、2年間続けていただき、議論の積み上げがあることが望ましいと考える。</p> <p>協議会は公開で行い、協議結果については地域のみなさんに公開したい。協議会では、個人の意見ではなく、それぞれの団体の意見を集約し、場合によってはアンケートを取るなどして、できるだけ多くの意見が反映できるように進めていきたい。</p>
つつじが丘	<p>⑭学校再編が決まれば、つつじが丘のまちから子どもがいなくなるのではと不安がある。人口減少の現状を受けて、市として今後どのようなまちづくりをしようとしているのか、特に北部地域についての方針、考え方を教えてほしい。</p> <p>⑮市教委は、魅力のある学校づくりを具体的にどのように進めてきたのか。今後、三田市全体を活性化し、魅力ある学校づくりのためにどのような教育を進めようとしているのか、その心意気を示してほしい。</p>	<p>⑭全国的な少子化を受けて、特に北部地域の人口減少については大変苦慮しているところである。地域のみなさんのご意見も聞きながら、交通手段の確保、子育て世帯や高齢者を対象とした施策、相野駅周辺のまちづくり計画等、可能な限りの施策を講じているところであるが、十分ということではないと思う。今後も地域のみなさんと協議しながら、進めていきたい。</p> <p>⑮魅力ある学校づくりの1つとして「学力」ということがある。子どもたちが落ち着いた環境の中で学習できるように、生徒指導の充実や授業研究に力を入れてきた。放課後の学習支援なども充実させながら、学力の向上に努めてきた。それが1つの三田の教育の魅力である。それが、全国学力・学習状況調査の結果にもつながっている。特別支援教育の面からも取り組みを進めている。また、部活動については、生徒数の減少に伴い、部活数・部員数が大きく減っている。特に、文化部の減り方が顕著である。合同部活動への交通費補助なども、三田市独自で行っている。</p>
西相野	⑯中学校の先生は、忙しい中、子ども1人1人のことを本当によく見て下さっている。それは、子どもが少ないために出来ることで、小規模校のメリットである。統合して、生徒数が増えるのもメリットだが、先生と生徒との深い結びつきという小規模校の良さを大切にしてほしい。	⑯小規模校のメリットについては、十分承知している。しかし、人間関係の固定化など、多くの課題があることも事実である。先生と子どもの関係だけではなく、子ども同士の関係の中で成長することも大切ではないかという考えも含めて、今回の計画を作成した。

発言者	出席者の主な発言	事務局回答（概要）
	<p>⑱現在の教職員定数自体が、全く不足している。地方から国や県に要望すべきである。</p> <p>⑲学校再編については、大人の考えだけで進めないで、当事者である子どものことを十分考えてほしい。</p>	<p>⑱現在、兵庫県では小学校4年生まで35人学級を実施しているが、それを6年生までの全学年で実施するよう要望している。</p> <p>⑲子どもたちが互いに成長するための教育環境はどうあるべきかを考えていく機会としてこの計画を作成した。様々な意見があるかと思うので、それを協議会の中で協議いただきたい。</p>
つつじが丘	<p>⑲なぜ子どもの多い藍中学校が、少ない長坂中学校に統合されるのか疑問である。人数の多い方に統合するのが、普通ではないか。</p> <p>日本中には、もっと小規模の学校がたくさんあるのではないか。1学年1学級あれば十分ではないか。</p>	<p>⑲歴史的、地理的なことも踏まえて判断している。現在は、藍中の方が生徒数は多いが、将来は長坂中の方が多くなると推計している。</p> <p>1学年1学級となると、クラス替えが出来ないという課題が生じる。また、1学級の人数が、10人程度になると、サッカーなどのチームスポーツができない等の課題も生じる。子どもの成長のために、それは避けたいと考えている。</p>
つつじが丘	<p>⑳地域協議会の開始が5月と説明されたが、まだ多くの疑問点がある中、早すぎるのではないか。学校再編による効果をもっと具体的に説明してほしい。</p> <p>藍中学校の跡地の活用方法やまちづくり計画の内容、統合時期等、具体的に説明してほしい。その上で、地域との丁寧な協議が必要であると考えます。</p>	<p>⑳協議会は、再編の是非も含めて総合的に協議をしていただく場であると考えている。</p> <p>跡地利用等については、「再編する」と決定してから、地域のみなさんと協議して決めていきたい。これ以上の校区拡大は、生徒の通学負担などを考えるとむずかしい。</p>
うぐいすの里	<p>㉑「望ましい学校規模は、9～18学級」とあるのに、この2校を統合しても平成35年度には9学級を下回る予測である。これでは統合する意味がないのではないか。もっと先を見通した計画であるべきなのではないか。</p>	<p>㉑この表では、平成35年には学級数が9学級を下回るとなっているが、6学級あれば、クラス替えは可能である。20～30年後くらいまで、6学級による一定規模が確保できる見込みであることから、この2校を再編する案とした。</p>
つつじが丘	<p>㉒藍中学校がなくなれば、三田市から外に出た人が、またつつじが丘に戻ろうと思わないのではないか。</p> <p>小中一貫校やICT教育の推進等、もっと工夫できることがあるのではないか。</p> <p>「相野駅周辺などの開発」という説明があったが、商業施設や宅地開発が本当に出来るのか。この地域の魅力を高めるような施策をお願いしたい。藍中学校がなくなる可能性について、開発業者の大蔵建設は知っているのか。</p>	<p>㉒小中一貫校は、中学生の人数が増えるわけではないので、部活動等の課題は解消されない。ICT教育については、審議会の中でも意見をいただき検討してきたが、あくまでも集団教育で不足する面を補足するものであり、それだけでは教育的効果に限界があると考えます。</p> <p>この計画について、大蔵建設への特別な情報提供は行っていない。まちづくり計画の詳細については、協議会で情報提供したい。</p>
つつじが丘	<p>㉓「特色ある教育を推進する」ということと「学校の統合」とは、どのような関係があるのか。子どもには「創意工夫し、柔軟に対応する力を」と言いながら、市教委の発想に創意工夫・柔軟性がない</p>	<p>㉓学校を統合し、一定の規模を確保することで、チーム・ティーチングやグループ別活動等、多様な学習形態を工夫することができる。逆に、人数が少ないことで、例えばサッカーができない等の課題が生じる。そのような課題を解消すると</p>

発言者	出席者の主な発言	事務局回答（概要）
	のではないか。	共に、各学校において一定の規模を確保しながら、それぞれの学校において特色ある教育を推進していきたい。
	②④「藍中学校は、長坂中学校から分離した」という説明は、事実とは違うのではないか。事実在即して書き直してほしい。	②④つつじが丘地区が開発されるまでは、藍地区の生徒が長坂中学校に通学していたのは事実で、そういう意味で「分離」と表現した。ただ、つつじが丘地区の人からすると、「分離したのではない」と言われるのは、理解できる。
	②⑤子どもの安全面をどう考えているのか。12～13歳の生徒がつつじが丘から長坂まで自転車で行くのは本当に安全か。バス通学という話もあったが、そのような予算があるなら、ICTやAIを活用した教育の推進等に使えばよいのではないか。つつじが丘地区に来たのは、地区の中に「幼稚園から中学校まで」あり、安全が確保できるからである。藍中をなくすことは、大反対である。この計画についても、結果ありきではなく、別の選択肢も含めて書き直してほしい。	②⑤統合の是非については、協議会で検討いただくこととしているので、結果ありきではない。今回、市教委で取りまとめた計画案をお示した。通学時の安全確保については、スクールバスの導入も含めて協議会の中で十分協議していきたい。
つつじが丘	②⑥国が言っている小学生・中学生の遠距離通学の距離基準は、何kmなのか。	②⑥国の遠距離通学の基準は、中学校については6kmとしている。三田市では、独自に遠距離通学の基準を、「小学校3km、中学校4km以上」とし、バス代等の支援をしている。
	②⑦同じ施設の中で小学校と中学校を設置することは、検討していないのか。そうすれば、交通安全の確保はできるのではないか。	②⑦小中一貫校については、基本方針に示しているように併設型小中一貫校を選択肢として検討している。それについては小学校も含めた大きな話となり、これからの検討としたい。ただ、中学生の人数が増えるわけではないので、部活動等の課題は解消されない。
	②⑧説明会の議事結果は、公開されるのか。公開されるなら、どのような方法になるのか。	②⑧説明会の議事の概要については、ホームページで公開する。協議会についても、公開とし、協議内容をホームページ等で公表していきたい。
つつじが丘	②⑨「統合ありき」の再編計画ではないのか。ある月の教育委員会の議事録を見ると、ある委員が「長坂中と藍中の統合という話を出したら、地域でもめるのではないか」と発言しているが、教育長の「まず隣接校での統合を」という発言で決定された。12月の総合教育会議の結論が、新聞に掲載されたのも、「結論ありき」だからではないのか。説明で、生徒数の推計が出されているが、自分が調べた市の統計では、違う数字が出てくる。説明資料の根拠を疑う。「長坂中は交通が便利」という説明だが、本当にそうか。	②⑨～③③今回の再編計画は行政の責任として「たたき台」を作成したもので、この「たたき台」をもとに、是非も含めて協議会の中で十分協議いただきたい。必要に応じて、協議会の中で地域・保護者対象にアンケートを取り、協議の参考とすることを考えたい。今後の協議の経過については、議事概要等を公開しながら進めていきたい。 50億円という数字については、あくまでも大まかな数字であり、議会にかけたものではない。 小規模校のメリットについては、十分承知している。しかし、多くの課題があ

発言者	出席者の主な発言	事務局回答（概要）
	<p>「小学校については、希望のあるところから」ということだが、これもすでに希望する学校があるのではないか。公明正大な情報公開のもとに進めてほしい。</p> <p>⑩つつじが丘地区は、都市計画上の市街地区域であり、生活環境については保障されているはず。それなのに、なぜ藍中学校を廃校するという再編案が出てくるのか。納得できないので、反対である。</p> <p>八景中と上野台中の統合については、50億円をかけて新設校を設置するということだが、議会の了解もないのにそれは出来るのか。本当に1学年に3学級以上がいるのか。単学級でも出来る教育があるのではないか。ITを使った教育等も考えていいのではないか。</p>	<p>ることも事実であり、クラス替え等もできるようにどの学年でも複数学級が必要と考える。</p> <p>総合教育会議では、内部会議の協議結果も示しながら論議し、その内容は市民のみなさんにも公開としている。傍聴していただくこともできる。総合教育会議の内容については、地域協議会にも情報提供する。</p> <p>「再編準備会」については、協議会が終了した後のスケジュールを、参考として掲載したものである。</p>
つつじが丘	<p>⑪この計画は、国の方針に基づき作成されたもので、市独自の考え方ではない。地域住民のことを考えていない。</p> <p>私がインターネットで調べたところによると、適正な学校規模については、文部科学省も検討したが、結論が出ていない。それほど難しい問題である。財務省は、学校の統廃合により、多数の教職員の削減ができると言っている。小中学生の希望に沿った内容ではない。地域から学校がなくなれば、人口が減り、高齢化が進む。外国に比べて、日本の学校規模は大きい。アメリカでは、一時学校の統廃合を進めたが、様々な課題が出てきて、再び小規模化を進めている。「小さい学校・学級ほど教育効果が上がっている」という報告もあり、WHOは、望ましい学校の規模として100人以下を示しており、クラス替えの必要もないと提言している。</p> <p>小学校・中学校があるから、「またつつじが丘に戻って来よう」という人もいる。この再編案に賛成する人は、ほとんどいないと思う。</p> <p>「三田は子育てしやすい」という市の方針は、どうなったのか。様々な分野で、住民負担が増えている。そのような状況で、50億円を新設校に導入するのはおかしい。もっと人口を増やすような施策を検討してほしい。</p> <p>総合教育会議等、再編計画に関する協議経過については、市民にわかるように情報提供してほしい。</p>	

発言者	出席者の主な発言	事務局回答（概要）
つつじが丘	<p>⑫住民の意見をどのように反映させようと考えているのか。クローズの会でいつのまにか統合を決定されるのではないかと危惧する。住民投票は、できないのか。地域住民は賛成なのか、反対なのか、客観的な数字を持って協議会に入ることは可能か。</p>	
	<p>⑬資料の中に「再編準備会」のことが書かれていたが、それも「結論ありき」ではないか。資料の修正は次回説明会までにするのか。</p>	